

廃校の正体とは

班長 金山兼大
副班長 宇田千夏
長岡拓也
山下登悠

研究テーマに廃校を選んだ理由

- ・廃校があることでどのような良い点または悪い点があるのか知りたかったから
- ・廃校が地域の人にどのような影響を与えているか知りたかったから

廃校の現状

- ・出雲市内に廃校になりそうな小学校が増えてきている。

行った活動

- 廃校の現状を見に行った
- 統合前に勤めておられた先生方にインタビュー
- 出雲市の学校再編推進室の方にインタビュー



出雲市立東小学校へ行きました



所在地：島根県出雲市小境町

1. 東小学校を見に行っの気づき

施設に活用したりするなど、
私たちの活動を東小学校を利用して
行いたいと思い、
見学に行きました。

良いところ◎

- ・放送が使える



悪いところ×

- ・体育館しかトイレが
使えない
- ・使えない部屋がある
- ・校庭の遊具が使えない
- ・屋上に上がれない
- ・屋内シューズが必要

2. 統合前の学校に勤めておられた方にインタビュー

朝陽小学校へインタビューしに行きました。



朝陽小学校

校長 梶谷 悟先生

にインタビュー

**Q.一番苦勞したこと
は？**

**A.5年かけて、地域の人に説
得したこと。**

**他には、学校の中の部会の
決め事が多かったこと
例 通学部会やPTAなど**



Q.どのような手段で登校する人が多いのか？

A.1番は徒歩通学

2番はスクールバス通学

3番は電車通学

Q. 先生方は旧東小学校、旧檜山小学校から継続して子供たちを教えておられますか？

A. ほぼ継続して教えている。



Q. 校歌や校訓はどのように決めましたか？

A. 校歌は作詞 角直之さん
(東小学校卒業生)

作曲 森脇恵津子さん
(東, 檜山小学校の音楽の先生)
にお願いしました。

Q.東小学校、檜山小学校から記念として朝陽小学校に持ってこられたものがありますか？

A.ないです。旧校舎に残しています。

朝陽小学校の先生方へ インタビュー



Q. 違う小学校出身の生徒に授業をするときに大変だったことは？

A. それぞれの小学校の当たり前があるため、説明不足になってしまう。



3. 出雲市の学校再編推進室 の方にインタビュー

Q. 統合される学校の基準は？

**A. この人数に達したらと
いうものはない。**



**Q.どこと統合するかはどうやって
きめるか？**

A.地元で許可が取れた所で決まる。

Q. 統合の話はいつから出るか？

A. 10年前くらいから始まる。



Q.廃校にしてよかったことは？

**A.小人数教室から大人数教室に
なったこと。**

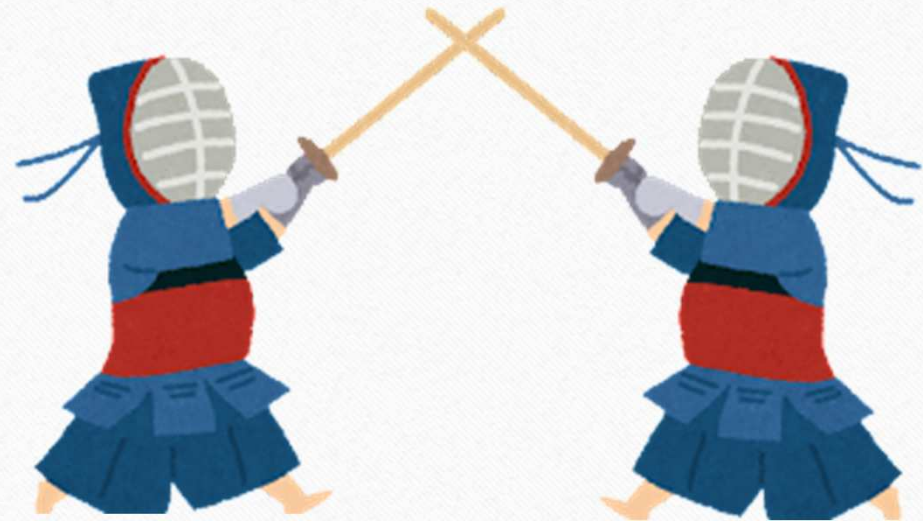
Q.廃校がこれ以上増えてきたらどのような対策を取るか？

A.民間企業などの利用を募集する。



現在利用されている例は

- スポーツ少年団
- 魚の養殖
- 地元の住人へ



感想

- **ひとつの統合した学校は、地域の方々の多大な協力によってできている。**
- **使われていない廃校が増えてきていて、様々な施設として利用することができそうだった。**
- **廃校をもっと積極的に利用しよう。**

まとめ

- 廃校があることで地域の方々の協力を得ることができることがわかった。
- 廃校あることで思い出として残り、繋がりを持つものだと分かった。

今後の展望（今後の計画）

- ・廃校についてより理解してもらう機会を作る。
- ・廃校を有効活用するために解決策を提案する。

引用協力していただいた方々

- ・出雲市教育委員会
学校再編推進室の方々**
- ・朝陽小学校の先生方々**

ご清聴ありがとうございました。